

得意を伸ばす夏、視野を広げる夏に

校長 大野 郁子

73日間の1学期がまもなく終わろうとしています。1年生にとっては、初めての小学校生活で新しい経験が多かったことと思います。4月は、6年生に手伝ってもらいながら朝スタートしていた1年生も、今は植物の世話をしたり、あいさつ運動をしたりと小学生らしい表情で活動をしています。1年生だけでなくどの学年も、1学期の学習や行事などを通して一回りも二回りも大きくなったと思います。これも、保護者の方、地域の方のたくさんの支援のおかげです。ありがとうございました。

たくさんの善意に支えていただきありがとうございます。

1学期ご協力いただいた内容を一部紹介します。

- ・子どもたちが使う畑を耕して、畝を作っていた
- ・田んぼの準備や世話をしていた
- ・毎月読み聞かせに来てくださった(下学年、上学年ごとに)
- ・グラウンドの草とり、草刈りをしてくださった
- ・運動会の準備や片付けをしてくださった
- ・放課後子どもたちの学習を見てくださった
- ・子どもたちにはがきをご寄付いただいていた(毎年夏も冬も)
- ・七夕の笹を分けていただいたり運んでいただいたりした
- ・子どもたちを見守り温かい声掛けをしてくださった

これからもよろしくお願いします。



ボランティアさんによる
読み聞かせ



いただいた笹で作った
七夕飾り

さて、学校は7月23日(水)～8月26日(火)まで、35日間の夏休みに入ります。子どもたちが学校を離れ、家庭や地域で過ごす期間です。学校生活という「集団生活」の中では取り組みにくい、自分の興味や関心のあるものにとことん追求し、得意を伸ばすチャンスです。普段とは違う経験を積み、視野を広げるチャンスでもあります。また、家族のお手伝いを通して、家事をする力を身に付けることは将来のために大切です。

子どもたちは、普段より自由になる時間が増えることと思います。計画を立て、充実した時間を過ごせるようにご家庭でもお声掛けをお願いします。

2学期の始業式には、子どもたちが全員そろって元気に会えることを願っております。